

# 愛光会だより



第103号

桜島学園 和光学園 桜町学園 フレンドリーホームいいぐま  
総合サポートセンター ラン おひさまキッズ 福祉総合相談支援センター あい  
平成30年8月1日発行 発行・編集 社会福祉法人 愛光会

鹿屋市海道町729番地6 TEL 0994-46-2821  
FAX 0994-46-2825  
<http://www.aikohkai.com/>



平成29年度鹿児島市消防スケッチ大会において、東桜島小  
5年生女子が優秀賞を受賞した作品です。



「愛光会だより」一〇〇号の  
 発刊によせて (その四)  
 社会福祉法人 愛光会 理事長 指宿 興一

暑中お見舞い申し上げます。

今年も、二月後半に春を思わす温かい日差しが降り注ぐ日々があり、桜は三月中旬に開花しました。梅雨入りも例年になく早まり五月中旬となりました。どうやら季節が一月余り前出しに移っているようです。これから猛暑と巨大な台風の動向が心配される季節となりました。

皆様方には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。愛光会の事業が大過なく順調に推移し、利用者はそれぞれの目標に向かって元気に頑張った結果、目を見張る成果が出てきました。これは皆様方の深い御理解と御協力の賜物と改めて感謝申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。

そして、前号にて懸念していましたトランプ大統領の「アメリカファースト」が益々進行し、自由貿易が阻害されて、世界の経済活動が落ち込む恐

れが出てきました。四月に行われた南北朝鮮首脳会談を受けて、核兵器及び大陸間弾道ミサイル開発の不可逆的停止とその破棄を前提としたトランプアメリカ大統領と金正恩北朝鮮労働党委員長による「米朝首脳会談」が六月十二日開催されました。その結果、原則的には合意しましたが「停止」と「破棄」作業の短期間の実施と検証等最重要項目は先送りされました。今後の協議が順調に進展することを切に希望します。

一方、国内では昨年からの「森友、加計学園問題」が尾を引き「公文書破棄」や「公文書書き換え」疑惑、「財務次官セクハラ辞任」等によって安倍政権の支持率が急落して、政権維持に不透明感が出てきました。

また一連の「日大アメリカンフットボール悪質タックル騒動」は、「組織の理念」や「危機管理」のあり方について考

えさせる出来事でした。本原稿を執筆中の六月十八日午前七時五十八分大阪府北部を震源とする「震度六弱の大地震」が襲いました。平成七年一月十日に発生した阪神・淡路大震災の余震と考えられています。従来からの課題である災害に強い「大都市ライフライン」の構築は道半ばであると思いが知らされました。特に「交通機能の維持」が最優先課題であると再認識させられました。またブロック塀の倒壊によって、災害弱者といわれる高齢者や幼い女の子が犠牲になりました。心からお悔やみ申し上げます。

愛光会では、四月以来、平成三十年度の諸事業が本格的に遂行され、六月十六日開催された評議員会において、平成二十九年事業及び決算報告とその承認を戴きました。今後は、共生サービス事業等の開始作業を加速して、皆様の期待に応えたいと考えています。

さて、平成二十四年八月一日発行された「愛光会だより第九十一号」では、平成二十三年八月三十日民主党政権下の「障がい者制度改革推

進会議総合福祉部会」によって提言された「障害者総合福祉法の骨格に関する提言」に基づき、平成二十四年六月二十日「障害者自立支援法」を「障害者総合福祉法」に改正したことを報告しています。これは、政権を取り戻した自由民主党が主になって実施しました。「障害程度区分」を「障害支援区分」と改めた以外、重要な諸課題は三年後までに検討することで、期待外れで非常に落胆したことを記憶しています。

平成二十五年一月一日発行された「愛光会だより第九十二号」では、「愛光会創立五十周年記念行事」の概要を紹介しています。

平成二十二年から平成二十五年に実施された三回の「記念フォーラム」、平成二十四年十二月十二日開催された「記念式典・祝賀会」の様子を報告しています。愛光会創立以来今日まで変わらぬいご厚情やご協力を賜りました行政機関、各町内会、各消防団、各医療機関等及び各利用者・保護者さまへの多大な感謝の意を表し、従前に増すご協力を賜るようお願いする

機会を得ましたことは非常に喜びで胸が一杯になったことを記憶しています。祝賀会終了後、役員ともども喜びを分かち合うことでした。

また、平成二十四年十月一日より特定相談支援事業所「あい」が開設され、各種相談事業や市や町村の福祉サービス支給決定に必要な福祉サービス利用計画書の作成、モニタリングの業務が開始されたことを伝えていきます。永年の懸案事項であるケアマネジメント手法による福祉サービス利用がようやく実現したという思いで記事と写真を見ることでした。

平成二十五年八月一日発行の「愛光会だより第九十二号」では、平成二十四年十月開設した「相談支援事業所あい」の組織と支援体制強化のために、法人内各事業所の相談支援専門資格取得者が兼務することとしました。また「基幹相談支援センター」の設置については、その活動は中立・公平性・透明性が絶対条件であることから、市町村または社会福祉協議会等が実施するべきであり、やむを得ず民間法人等に委託する場合は、公

募するとともに地域自立支援協議会と徹底した協議を行うべきであると提言しています。

平成二十六年一月一日発行「愛光会だより第九十四号」では、従来の「障害程度区分」から見直しされた「障害支援区分」の概要を説明しています。しかし高齢者の介護度を重視した「介護度区分」をベースにした「障害者程度区分」を若干手直しした「障害者支援区分」では、障害者が真に必要な支援サービスを提供できないのではないかと危惧したことを鮮明に記憶しています。

平成二十六年八月一日発行「愛光会だより第九十五号」では、社会福祉法人以外の福祉事業参入の課題として、平等で公正な競争いわゆる「イコールフティング」や一部の法人の「過大な内部保留金」、公益法人としての「非課税」等について「社会福祉法」の改正を前提とした議論が進められていることを紹介しています。

平成二十七年一月一日発行「愛光会だより第九十六号」では、平成二十五年八月発表された「社会保障制度改革国民会議報告書」について紹介し

ています。それは高度経済成長時代の現役世代は雇用、高齢者世代は社会保障という年金、医療、介護が中心となる「二九〇〇年代モデル」から少子高齢化時代に継続可能な制度を目指して自助、共助、公助のバランスの取れた「二〇二五年生活保障モデル」への転換を強く促す提言であったと記憶しています。現在、このような考えに基づいて「社会基礎構造の改革」が進行していると実感しています。また障害者の権利は「医学的モデル」から「社会的モデル」へやっとな転換しつつあることを嬉しく思うことでした。

平成二十七年八月一日発行「愛光会だより第九十七号」では、「社会福祉法」の改正により義務付けられようとしている「社会貢献事業」について各事業所の取り組みを紹介しています。

愛光会では従来からの法人・各事業所や各地域の行事を通じて、地域との交流を積極的に実施してきました。しかし地域の「少子高齢化」が急激に進行し、地域が孤立してきました。旧来の「地域交流」では、「現実情」に適切に対応

することが困難となってきました。そこで地域からの要望のリサーチや「社会福祉協議会等の福祉機関」のご意見をお聞きして「地域の孤立」の防止と「地域の災害等による緊急避難」や「救急の初動」のお手伝い等の「地域貢献事業」を考えています。

具体的には、「災害避難所の開設」、「市民救命士の派遣」と「ドライブサロン事業」等です。四月九日より鹿屋市社会福祉協議会と愛光会との共同事業として、交通弱者である高齢者のために「生活支援型ふれあい・いきいきドライブサロン事業」を有武町、小薄町、高牧町を対象にして開始しましたことを報告しています。

平成二十八年一月一日発行「愛光会だより第九十八号」では、平成二十七年八月十五日午前十時十五分発令された「桜島警戒レベル4（避難準備）下の桜島学園を中心にして愛光会の動静を報告しています。

幸いにも同年八月二十二日「火山予知連絡会」は「レベル4」を継続するが規模の大きい噴火の可能性は低下したという見解を発表し、それに伴

い鹿児島市は「避難勧告」を解除しました。それに基づいて桜島学園から八月十五日から継続している「避難準備体制」から「通常生活」へ戻した旨の報告を受けて心から安堵し、みんなと喜びを分かち合うことでした。九月二日「レベル3（立入規制）」、十一月二十五日「レベル2（火口周辺規制）」となり、現在は「レベル3（立入禁止）」です。

また、その時最重要課題として事業の存続については、小規模ケア事業の一環として桜島地区外の「グループホーム事業」を推進することによって解決したいと考えています。

平成二十八年八月一日「愛光会だより第九十九号」では、同年四月十四日夜、十六未明、熊本県と大分県を相次いで震度七の大地震が襲い、甚大な被害が発生したことを報告しています。改めて「リスクマネジメント」すなわち「危機管理」の重要性を再認識したことです。将来発生が予測されるあらゆる「リスク」を想定し、その損害を最小限度に止めることを念頭に対応していきたいと考えています。平成二十八年三月三十一日、「地

域における公益的取組を実施する責務」、「事業運営の透明性の向上」、「経営組織のガバナンスの強化」、財務規律の強化」を織り込んだ「改正社会福祉法」の概要とそれに基づき「新社会法人愛光会」への移行計画を紹介しています。

私事で恐縮ですが、この「愛光会だより第九十九号」という節目に「平成二十八年三月三十一日付桜町学園施設長退任」の挨拶ができたことは、何か運命的なために導かれてきたと感慨を新たにしています。

「愛光会だより第一〇〇号の発刊によせて」は本号（第一〇三号）をもって完結といたします。振り返って読み直してみますと「愛光会」創立以来約半世紀以上の年月が流れましたが、「第一号創刊号」以来、「利用者ファースト」の理念が脈々と力強く流れていると思っています。これからのこの伝統を継承して「第二〇〇号」の発行を目指しますの



# 「ほうれんそうのおひたし」

桜島学園

副園長 福留 将浩

昨年七月、野口新園長の下、副園長職を拝命して早一年が過ぎました。その間、園長を補佐する立場でありながら逆に園長より幾度も助けていただき、桜島学園担当の佐多理事からは貴重なご助言を賜り、総括主任の支え、職員の協力、そして何より子どもたちの笑顔に活力をもらい日々四苦八苦しながらもなんとか職務を遂行しています。

先日、七夕の夜に高校時代の同窓会がありました。ロマンチックな夜に似合わない今年度五十才を迎える男(おじさん)十五人が集まって人生半世紀に乾杯しました。その際に銀行の支店長を務めている友人より「ほうれんそうのおひたし」について教わりました。「ほうれんそう」を確実に実行し、上司が「おひたし」で答えたら、部下は安心して仕事に取り組むことができるとうのです。恥ずかしながら「ほうれんそう」||「報告・連絡・相談」は知っていましたが、「お

ひたし」までは知りませんでした。

お||怒らない。

ひ||否定しない。

た||助ける。

(困りごとがあれば)

し||指示する。

怒らないと言つても、程度に合わせて怒る。もちろん感情任せで怒ってはいけない。大事なことは失敗の報告でも頭ごなしに怒らずに、次の対策を考えて指示を出すことだと思います。そして「ほうれんそう」の本来の意味は、「報告、連絡、相談をしやすい環境を作りましょう。」という、上司に向けた言葉だと言うことも初めて知りました。部下にだけ「ほうれんそう」を求めるのではなく、「おひたし」を心掛けて「ほうれんそう」をしやすい職場にしないといけないと友人は雄弁に語りました。なるほどと納得して、酔っているのを忘れてはいけないとメモを取りました。同窓会は盛会裏に終わり、気分高揚の帰路で、私は料理は全くできませんが「ほうれんそうのおひたし」だけ是可以するようにしたいと、大雨で星は見えませんでした、織り姫と彦星に誓いました。

# 「二年目の挑戦」

和光学園

副施設長 竹野 順子

和光学園を初めて訪問させていただいた時、玄関の花壇がとても綺麗だったことを記憶している。そしてここで働く事になり、以来利用者様方との散歩や毎日の登下校の際に、この花に心が和み癒やされてきた。

昨年からは、この花を育てる事になった。前任者の指導を受けながら、広さや土壌を変え、種から開花まで初めて体験してみた。結果中々簡単な事ではなかった。まず種まきの土作りから始まり日々の水掛除草、強風やモグラ対策、土の栄養管理など、一見簡単で単調な作業に感じられるが、奥が深く大変な作業である。結局昨年度は種子からの花鑑賞までは至らず、ほぼ全滅。再度苗を購入して何とか花の開花を見る事が出来た。

また同時に自宅の庭でも季節の花を植えるようになった。苗を植えた花が咲き、花を見たり香りを嗅いだりする事で、毎日優しくすがすがしい気持ちを感じて癒やされている。

ちを感じて癒やされている。

今年には挑戦二年目、現在学園の花壇では、サルビア、コスモス、ポーチュラカ、マリーゴールド等、小さいながらも何とか頑張ってくれている。

先日書店で「花育・フラワーセラピー」と言う言葉を目にして調べてみた。簡単に言うと、花を育てたり観察したりする事、自然に触れる事で癒やしや様々な効果を得る事であった。また、私達は普段自然の事として、お祝いやお別れ、お見舞い等様々な場面では活用している事に気づく。これだけ多くの場面で活用されるという事からも、花を育てる事、見る事は、私自身は元より、利用者様にとつても、大きな意味があり、日々の支援の中で重要な役割を持つているのではないかと思う。

夏到来、利用者様が花壇を見て季節感を感じ、綺麗だと感じられる、そして元気になれるように一緒に挑戦していきたいと思う。



# 「ソーシャルワーク実習」

桜町学園

副施設長 新地 拓哉

桜町学園は社会福祉系の複数の大学・専門学校等の相談援助実習施設として毎年数名の実習生を受け入れており、社会福祉士の実習指導者の資格を持つ職員三名とそれ以外の全職員が連携しながら実習指導を行っています。

実習のプログラムですが、一週目に当事業所の概要やそこで生活されている利用者様の障害の程度・年齢等の理解を目指します。二週目には生活支援員・看護師・栄養士等職種毎の業務を理解し、互いの連携について学習します。三・四週目はサービスマン管理責任者の業務を理解することを中心に、相談・苦情解決制度や権利擁護、個別支援計画の作成等を学習します。また、実習期間中に地域の社会資源を知る目的で、鹿屋市社会福祉協議会等外部の関係機関へ実習をお願いしたり、法人内の他事業所の説明や見学を実施したりしています。

実習生を受け入れることは、

大きく二つの意味があると思います。一つは将来の福祉人材を育てるという意味。もう一つは第三者の視点を大切にすると意味です。前者につきましては、人材難の時代において、将来的に福祉の仕事に就いて頂く為に、仕事のやり甲斐や魅力をいかに実習生に伝えるかが課題であると思います。後者につきましては、人権擁護関連の法整備等が進んでいるにも関わらず、痛ましい虐待の事案がいくつか報道されたことは残念なことです。ボランティアや見学者、実習生を積極的に受け入れることは、虐待の無い開かれた事業所を目指す上で重要な要素であると感じています。

外の事業所で働きながら資格取得を目指す社会人の方を、実習生として受け入れることもありますが、その実習生の方より鋭い質問が投げかけられる等、こちらが学ぶことも多く、良い刺激になっていきます。互いにプロ意識を高め合えるような実習を今後も続けていきたいと思えます。



### 「年金委員」

フレンドリーホームいぐま  
副施設長 山下 清治

私は、現在『年金委員』の委嘱を受けております。

ところで、皆さんは、『年金委員』をご存じでしょうか？

日本年金機構法第三十条に基づき、平成二十二年一月に設置されました。年金委員は、厚生労働大臣からの委嘱を受けて、政府が管掌する年金事業について、会社や地域において啓発相談、助言などの活動を行います。委員としての報酬は無く、奉仕的な民間協力員です。

尚、年金委員には、活動する領域により「職域型」と「地域型」に区分され、「職域型」は主にお勤めの会社内で、「地域型」は主に自治会などの地域において活動する方々で、平成三十年三月末現在、全国で十一万八千三十六人（職域型十一万三千二百六十七人、地域型四千七百六十九人）。鹿児島では、千九百四十二人（職域型千六百九十七人、地域型二百四十五人）が委嘱されています。

私は、その中の「職域型の年金委員」になりますので、年金事業等についての相談等ありましたら気軽に声をかけください。

しかし、ひとくくりに年金事業といいますが、簡単に説明が出来るわけではありません。度重なる年金制度の改正、個人の加入条件による違い等で年金支給に関する事項は大きく変わってしまっています。私が回答出来る事は限られてきますが、より専門的な知識が必要となる場合は、年金事務所を結ぶ大事なパイプ役となり、少しでも皆様のお役に立てればと思っております。

また、皆さんにも年金制度に対する理解を少しでも深めて頂ければと思います。厚生労働省と日本年金機構では毎年十一月を「ねんきん月間」と位置づけ、十一月三十日（いみらい）を「年金の日」としております。

将来、訪れる一人一人の生活が「いいみらい」でありますように、心より願いたいものです。



### 「今後の取り組み」

総合サポートセンターラン  
副施設長 松元 洋和

平成三十年四月一日付を以ちまして総合サポートセンターラン副施設長職を拜命致しました。至らない部分が多く、皆様にご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年度より、障害者の重度化・高齢化に対応する共同生活援助の新たな類型としての「日中サービス支援型グループホーム」、地域で一人暮らしを行う利用者様への定期的な巡回訪問や随時の対応を行う「自立生活援助事業」、障害福祉サービスの指定を受けた事業所が介護保険の訪問介護・通所介護・短期入所の指定を受ける場合の基準の特例を設けた「共生型サービス」等、国より提示されました。

今後、深く関連してくる事業と感じていますので、資料等を通してサービス内容の把握に努めていきたいと思えます。

現在、事業所では、ヘルパー・デイサービス・グループホーム等の事業を行っており、職員がそれぞれ必要な部分を連携しながら、利用者様の支援を行っています。今後を見据え、当事業所内での新たな協力体制の構築、また現在行っている支援技術の向上の為に研修や外部研修への参加、人権擁護の為に研修を充実させる等、より良いサービスが提供出来る体制作りに努めて参りたいと思えます。

それと同時に、私自身も個人の資質向上に努めていくと共に当事業所の専門性を高め、利用者様の望む生活を達成出来るように努めて参りたい所存でございますので、今後とも宜しくお願ひ致します。



現在、事業所では、ヘルパー・デイサービス・グループホーム等の事業を行っており、職員がそれぞれ必要な部分を連携しながら、利用者様の支援を行っています。今後を見据え、当事業所内での新たな協力体制の構築、また現在行っている支援技術の向上の為に研修や外部研修への参加、人権擁護の為に研修を充実させる等、より良いサービスが提供出来る体制作りに努めて参りたいと思えます。

「就任のご挨拶」

福祉総合相談支援センター あい  
副管理者 古川 泰賀

暑中見舞い申し上げます。

平成三十年四月一日付をもちまして、福祉総合相談支援センターあい副管理者として拜命致しました。まだまだ至らない点も多く、皆様にご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、思い起こすと入職から十七年。千変万化の社会福祉の流れを追いつつ、走り続けている所であります。入職当初、障害者支援施設桜町学園の生活支援員として日中の活動や生活面全般の支援をさせていただきました。利用者の方々が、伸び伸びと安心して生活することができるよう細かな支援に努め、利用者・スタッフで楽しみを共有しながら過ごしていたことが懐かしく思い出されます。

平成二十五年より福祉総合相談支援センターあいへ配属。生活支援員から相談支援専門員（福祉サービス利用時に必要となるサービス等利用計画

書の作成やサービス提供事業所との連絡調整等）へと職務がかわり、これまで現場で培ってきた知識や経験を活かし、適切なアドバイスができるよう努めて参りました。様々な相談を受けていく中で、まだ見えていない思いをどのように反映できるかということや日々熟考しております。近年の法改正やサービスの多様化により手続き等も複雑になっており、利用者や保護者の方々も疑問や不安などあるかと思われま

す。どのような場面においても、傾聴とわかりやすい説明を心がけながら丁寧な対応ができるよう努めて参りたいと思っております。

最後に、まだまだ若輩者ではありますがですが諸先輩方のご指導を賜りながら精進していく所存にございます。今後よろしくお願い申し上げます。

厳しい暑さが続きますが、どうぞご自愛ください。



わくわく大会

生活支援員 立花 龍郎

去る五月十三日に第十四回わくわく大会が大隅アリーナで開催されました。毎年この時期が近づくと利用者の方から「もうすぐわくわく大会だね」と笑顔で職員に話してくださいいます。その一言を聞くたびにもう一年経ったのかと時の早さを感じさせられました。楽しい行事になるようにしつつ準備しなきゃと私自身も気合いが入りました。

今回の大会の見所の一つである各施設のレクリエーションではそれぞれの施設が工夫をこらした発表となっていました。各施設の発表の際は会場より大きな拍手の中、利用者の方一人一人が笑顔で表現されているのがとても印象的

なもので会場を大いに盛り上げてくださいました。競技では保護者、役員、利用者、職員も参加され、みなさん汗だくになりながら生き生きと競技に参加されていました。特に玉入れでは「絶対に負けない」という気持ちで前面に出ており時間いっぱい籠めがけ一生懸命

投げつけていました。あまりにも気合いが入りすぎていて怪我しないか心配でしたが無事に怪我もなく競技を終了出来て安心しました。

今年のわくわく大会も無事に終えることが出来たのも利用者の方々、保護者並びに役員皆様のご協力あつてのこと

だと思えます。本当にありがとうございました。当日はあいにくの天気です。下の悪い中にも関わらずたくさんのご参加をいただきありがとうございます。毎年みながさんのたくさんの笑顔が見られるような大会になるよう。今大会の反省を活かし更に楽しい行事になるように職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。



# 社会福祉法人 愛光会 平成29年度収支決算報告書

## 資金収支計算書 第1号第1様式

社会福祉法人 愛光会  
法人全体

(自)平成29年4月1日 (至) 決算平成30年3月31日 (決算)

単位：円

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	192,427,000	194,074,381	-1,647,381
		就労支援事業収入	10,110,000	10,046,029	63,971
		障害福祉サービス等事業収入	829,076,000	823,186,415	5,889,585
		経常経費寄附金収入	812,000	751,632	60,368
		受取利息配当金収入	46,000	24,676	21,324
		その他の収入	8,022,000	7,562,512	459,488
		事業活動収入計(1)	1,040,633,000	1,035,771,065	4,861,935
	支出	人件費支出	768,900,000	761,360,760	7,539,240
		事業費支出	171,663,000	163,424,580	8,238,420
		事務費支出	63,114,000	52,733,163	10,380,837
		就労支援事業支出	10,610,000	10,546,029	63,971
		支払利息支出	563,000	562,807	193
		その他の支出	2,400,000	2,184,819	215,181
事業活動支出計(2)		1,017,250,000	990,812,158	26,437,842	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	23,383,000	44,958,907	-21,575,907		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0
		施設整備等寄附金収入	0	0	0
		固定資産売却収入	42,984,000	42,984,000	0
		施設整備等収入計(4)	42,984,000	42,984,000	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	7,760,000	7,760,000	0
		固定資産取得支出	99,537,000	98,197,402	1,339,598
		施設整備等支出計(5)	107,297,000	105,957,402	1,339,598
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	-64,313,000	-62,973,402	-1,339,598		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	6,190,000	6,114,075	75,925
		その他の活動による収入	3,157,000	3,038,542	118,458
		その他の活動収入計(7)	9,347,000	9,152,617	194,383
	支出	積立資産支出	14,497,000	14,338,750	158,250
		その他の活動による支出	156,000	137,191	18,809
		その他の活動支出計(8)	14,653,000	14,475,941	177,059
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-5,306,000	-5,323,324	17,324	
予備費支出(10)	4,100,000	0	4,100,000		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	-50,336,000	-23,337,819	-26,998,181		
前期末支払資金残高(12)	738,113,343	738,113,343	0		
当期末支払資金残高(11) + (12)	687,777,343	714,775,524	-26,998,181		

詳細はホームページをご覧ください。  
また、各施設、事業所でも閲覧出来ます。

事業活動計算書 第2号第1様式

社会福祉法人 愛光会  
法人全体

(自)平成29年4月1日 (至) 決算平成30年3月31日(決算)

単位：円

Table with columns: 勘定科目, 本年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). Rows include 児童福祉事業収益, 就労支援事業収益, 障害福祉サービス等事業収益, 経常経費寄附金収益, 人件費, 事業費, 事務費, 就労支援事業費用, 減価償却費, 国庫補助金等特別積立金取崩額, サービス活動増減差額(3)=(1)-(2), 受取利息配当金収益, サービス活動外収益計(4), 支払利息, サービス活動外費用計(5), サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5), 経常増減差額(7)=(3)+(6).

Table with columns: 勘定科目, 本年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). Rows include 施設整備等補助金収益, 施設整備等寄附金収益, 特別増減差額(10)=(8)-(9), 当期活動増減差額(11)=(7)+(10), 前期繰越活動増減差額(12), 当期未繰越活動増減差額(13)=(11)+(12), 基本金取崩額(14), 繰越活動増減差額の部, 繰越活動増減差額(15), 繰越活動増減差額(16), 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16).

社会福祉法人 愛光会  
法人全体

貸借対照表 第3号第1様式

決算 平成30年3月31日現在(決算)

単位：円

Table with columns: 資産の部, 負債の部. Rows include 流動資産, 現金預金, 事業未収金, 未収補助金, 商品・製品, 原材料, 仮払金, その他の流動資産, 固定資産, 基本財産, 土地, 建物, その他の固定資産, 建物, 構築物, 機械及び装置, 車両運搬具, 器具及び備品, ソフトウェア, 退職給付引当資産, 人件費積立資産, 修繕積立資産, 備品等購入積立資産, 工賃変動積立資産, 施設・設備整備積立資産, 措置施設繰越特定預金(人件費), 措置施設繰越特定預金(施設整備等積立預金), 資産の部合計, 流動負債, 事業未払金, 1年以内返済予定設備資金借入金, 職員預り金, 預り金, 賞与引当金, 流動負債合計, 固定負債, 設備資金借入金, 退職給付引当金, 固定負債合計, 負債及び純資産の部合計.

社会福祉法人 愛光会  
法人全体

財産目録

平成30年3月31日現在(決算)

単位：円

Table with columns: 資産・負債の内訳, 金額. Rows include I 資産の部, 1. 流動資産, 現金預金, 事業未収金, 未収補助金, 商品・製品, 原材料, 仮払金, その他の流動資産, 流動資産合計, 2. 固定資産, (1)基本財産, 土地, 建物, 基本財産合計, (2)その他の固定資産, 建物, 構築物, 機械及び装置, 車両運搬具, 器具及び備品, ソフトウェア, 退職給付引当資産, 人件費積立資産, 修繕積立資産, 備品等購入積立資産, 工賃変動積立資産, 施設・設備整備積立資産, 措置施設繰越特定預金(人件費), 措置施設繰越特定預金(施設整備等積立預金), その他の固定資産, 固定資産合計, 資産合計, II 負債の部, 1. 流動負債, 事業未払金, 1年以内返済予定設備資金借入金, 職員預り金, 預り金, 賞与引当金, 流動負債合計, 2. 固定負債, 設備資金借入金, 退職給付引当金, 固定負債合計, 負債合計, 差引 純財産.





# 各施設行事報告

## 桜島学園 桜島園の地域活動について

担当保育士

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」は社会福祉法第二十四条第二項の規定に基づき、平成二十八年四月から、法人の責務に位置付けられました。厚生労働省は、子ども、高齢者、障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合う事ができる地域共生社会の実現を目指し、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる地域づくりへの支援とともに複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを進めています。桜島学園では、「地域における公益的な取組」として、色々検討した結果、尻野町の姫宮神社の環境美化活動をする事になりました。この他にも、月一回子どもたちと共に姫宮神社の清掃活動を行ってきました。こうして、地域の方々とネットワーク等を活かしなが、地域づくりと連携し、積極的に貢献していくとと考えています。



## 和光学園 春の親子一日遠足

担当支援員

三月二十一日に家族会主催の春の親子一日遠足が実施され、いおワールドかごしま水族館へ行きました。毎年恒例の行事とあって、沢山の御家族が参加して下さい、楽しい一日を過ごす事が出来ました。

鹿屋から陸周りで約100kmの道のりでしたが、道中、クイズやビデオ視聴等のレクリエーションが催され、楽しみながら移動出来ました。水族館ではイルカショーを見学、飛び跳ねるイルカの姿に大きな歓声が上がりました。昼食時間、御家族でゆっくりお弁当を食べられる方、早々に済ませ、自由行動開始、買い物や館内巡りを楽しまれる方等様々な姿が見られていました。

御家族との交流を通して、利用者様の新たな一面を発見する事ができ、とても有意義な一日だったと思います。



## 桜町学園 さくらら会

担当支援員

今年度も三月の総選挙で選ばれたメンバーにより新たな「さくらら会」のスタートとなりました。

毎月一回、「さくらら会」を実施し、クラブ活動や行事等での要望や意見等を出し合い、学園生活が充実したものとなるように話し合いながら和やかな雰囲気で行っています。今回は、八月に行われる「納涼大会」について話し合いと説明を行い、利用者様が楽しみにされている様子が写し出されております。

様々な要望や意見を元に、今後のクラブ活動や行事等に活かして、利用者様の「納得」「満足」のいく生活を送れるように今後も「さくらら会」を実施し、利用者様と共に取り組んでいきたいと思っております。



## フレンドリーホームいぐま 春のおでかけ

担当支援員

四月十二日、春の心地よい風と晴天に恵まれた中、施設行事である春のおでかけが今年も開催されました。

利用者の会で、どこに行くか意見を出し合い、霧島ヶ丘公園に決まりました。利用者の方々は久しぶりのおでかけという事で、とても楽しみにされておりました。当日は公園散策や、レクリエーション(グラウンドゴルフやバドミントン)を楽しみました。花はあまり咲いていなくて残念でしたが、売店でソフトクリームを食べたり、ばら園ならではの小物を購入し、とても喜んでおりました。お昼ごはんのお弁当は、事前に食べたいものを選び、みんなで美味しく頂きました。怪我も無く、楽しい一日を皆で過ごす事が出来、良かったです。次はバラが咲く時期に遊びに行きたいな...と言う声も聞かれたので、次に向けて利用者の皆さんが楽しめる行事を職員一同で企画していきたいと思っております。



## 総合サポートセンターラン 社会適応訓練「佐多岬ドライブ」

担当支援員

六月十三日に生活介護と地域活動支援センターの利用者様二十七名を対象として佐多岬ドライブに行きました。当日は最高の快晴に恵まれて、まさにドライブ日和でした。道中は拡張工事が所々行われており、片側通行の区間もありましたが、佐多岬第一駐車場に無事に到着、着いてみると気温がかなり上がっており熱中症なども想定されたため、新設された展望台は諦め、駐車場内にある展望台から海の眺望を満喫し集合写真を撮影しました。ここにはトイレはもちろん売店もあり飲み物や記念グッズを購入されていました。昼食は近くの「味の大陸」さん、皆さんがゆったりとくつろげる広間もあり、ここから見える海の眺めもすばらしかったです。料理も堪能され、大満足の様子でした。体調不良の方もおられず、無事故で帰路につき、楽しい一日を過ごすことができました。



## おひさまキッズ 歯科衛生士による勉強会

担当保育士

六月は、歯と口の衛生週間からスタート。ということで、水曜日の母子通園日に歯科衛生士による勉強会を行いました。虫歯ができる原因や経緯、予防の方法を教えてくださいました。予防法の中の「シュガーコントロール」は、砂糖の甘さになるだけ控えるという大人の耳が痛くなる話で、保護者の皆様もいつも口にはしているおやつに対する意識が変化しているようでした。

また、「よく噛む」ことで唾液の分泌が促進され、虫歯予防になることから、日頃の食事の形状も工夫が必要だと感じました。

驚きもありましたが、小学校六年生まで仕上げ磨きを行うことが理想とのこと、毎日行う歯磨きを通して、親子のスキンシップもとれ、心身の変化に気付く良い習慣になるそうです。毎日行う歯磨きです。「楽しい歯磨きの時間」を心がけたと思います。



各施設新職員の紹介  
ニューフェイス  
New Face



桜島学園  
児童指導員  
榎園 和馬

子どもたちとの関わりを大切に、  
その中で多くのことを学んでいきたい  
と思います。よろしくお願ひします。



桜島学園  
児童指導員  
肥後 燿

慣れない事ばかりの毎日ですが、  
誠心誠意頑張っていくと思いま  
す。よろしくお願ひします。



桜島学園  
保育士  
岩元まどか

社会人一年目で分からないことはか  
りですが、子どもたちと共に成長して  
いきたいです。宜しくお願ひします。



桜島学園  
保育士  
丸野 美波

初めての事が多く、毎日子どもたちから  
たくさんを学んでいます。子どもたちと  
日々の関わりを大切に、笑顔で頑張ります。



桜島学園  
保育士  
四角真奈香

子どもたちが楽しく生活ができる  
ように仕事を頑張っていくきたいと思  
います。よろしくお願ひします。



桜島学園  
保育士  
江藤 美和

子どもに寄り添い続ける事を忘れ  
ずより良い保育士になれるよう頑張  
ります。よろしくお願ひします。



桜島学園  
保育士  
新西 弘太

日々新たな発見ができるように  
子どもと関わっていききたいと思っ  
ています。よろしくお願ひします。



桜島学園  
保育士  
南部 唯菜

子どもと関わる中で悩む事もありま  
すが、真剣に向き合い一緒に考え成長して  
いきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



桜島学園  
児童指導員  
松下 日和

桜島学園で勤め約三月経ちますが一日  
一日を大切に、また、子どもたちを想う気持ちを  
大切に、これからも勤めていきたいと思ひます。



桜島学園  
児童指導員  
川路 尚貴

一年間分からないことだらけな  
ので、先輩方に教えて頂きながら、  
一生懸命頑張ります。宜しくお願  
ひします。



桜町学園  
生活支援員  
圓田 智洋

四月一日から桜町学園に生活支援  
員として勤務させていただいており  
ます。前職は高齢者福祉施設で働い  
ており、その経験を活かしつつ、新  
たな知識と技術を身につけてより良  
いサービスが出来るよう頑張ります。  
宜しくお願ひ致します。



フレンドリーホームいづみぐま  
生活支援員  
宮園 年枝

四月から生活支援員として勤務し  
ています。この仕事は初めてで、始  
めは不安でしたが、とてもやりがい  
のある仕事だと感じています。一生  
懸命頑張ります。よろしくお願ひし  
ます。



おひさまキッズ  
非常勤指導員  
當房 憲児

六月よりおひさまキッズの指導  
員として、勤務させていただいて  
おります。一日一日を大切に、積  
極的に頑張ります。



おひさまキッズ  
パート看護師  
神崎美保子

一日も早く仕事に慣れ、戦力と  
してお役にたてるよう頑張ります  
ので、よろしくお願ひいたします。



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。  
また、西日本豪雨災害にお  
いて被害にあわれた方々に心  
よりお見舞い申し上げます。

晴天と局地的な雨をくり  
返した梅雨も明け、夏本番に  
入りましたが、皆様いかがお  
過ごしでしょうか。新委員で  
の愛光会だより第一〇三号が  
完成いたしました。これまで  
の歴史も大切にしながら、新  
しい風も吹かせていけたらと  
思っております。

華やかなワールドカップの  
裏で、大阪の地震・大隅半島  
での事件等があり、利用者様  
の日々の安全確保について改  
めて確認していかなくてはな  
らないと感じました。

また、共生型への大きな第  
一步となった今期を経て、これ  
まで以上に、地域の中で継続  
的な質の高い支援サービスを  
提供していけるよう、愛光会  
役職員一同、利用者の皆様と  
かわっていけたらと思っております。  
今後ともよろしくお  
願ひいたします。

編集員一同

寄贈一覧 桜島学園

(H 29.12. 9~H 30. 6.30)

- 門司一徹様.....[クリスマスカード]
  - 東桜島地区社会福祉協議会様.....[10,000円]
  - 日本鏡餅組合様
  - 第一生命労働組合鹿児島支部様...[図書カード500円×44]
  - 鹿児島まぐる同友会様
  - 鹿児島ライオンズクラブ様.....[2段ベッド11台]
  - 築地テリ子様
- ありがとうございました。

# 行事生活一コマ



かからん団子作り



園内研修 (桜島火山災害対策について)



子どもの日 磯遊び

桜島学園



節分行事



創作活動



ひなまつり

和光学園



花見



ふれあいフェスタ



ふれあいフェスタ

桜町学園



わくわく大会



にじいろ喫茶外出訓練



合同レクリエーション

フレンドリーホーム  
つくしま



クッキング



わくわく大会

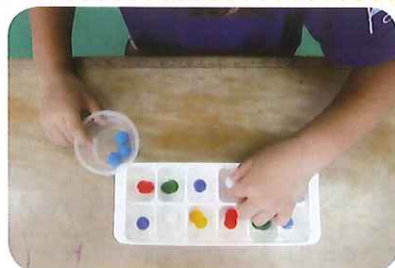


球技大会

総合サポートセンター  
ラン



社会体験学習「鉄道記念館にいこう」



色分け教材



6月親子制作

おひさまキッズ